

IPLAチューター報告書3月分 (2024春)

IPLAチューターのみなさんへ

- ・2024春学期チューター委嘱期間：3月21日～8月末日
- ・「1日分の活動ごとに入力」し、報告書を提出してください。
- ・活動内容/気付いたこと・学んだことは具体的に記載すること
(内容が不十分の場合、留学生課から連絡させていただく場合がございます)
記入例：
 - ・ **その月に活動実績がない場合にも、報告書の提出は必要です。「活動日」は報告書提出日、「活動手段」は活動実績なし、「活動開始/終了時間」「今日の活動合計時間」は0時間、「支援内容」は活動実績なし、として報告書を作成ください。**
 - ・重複回答の場合は、後に提出いただいた方を有効とします。
 - ・期日後の提出は受け付けませんので**提出期限を守りましょう。**
(期日: 翌月7日/週末や祝日を挟む場合はその翌平日)

<問い合わせ>

留学生課留学生交流係 IPLA担当 小沼

studyab@grp.tohoku.ac.jp

提出日 *

YYYY MM DD

2024 / 03 / 22

チューター氏名 *

TOHOKU TARO

チューター学籍番号 *

C4VJ0000

留学生氏名 *

TOHOKU JAMES

活動日 *

YYYY MM DD

2024 / 03 / 21

活動手段 *

LINE電話

Zoom

Skype

Google Meet

対面

活動実績なし

その他:

活動開始時間 (30分単位/24h表記) *

時刻

09 : 00

活動終了時間 (30分単位/24h表記) *

時刻

11:00

今日の活動合計時間 *

数字を入力してください。30分単位 = 0.5刻み 例) 1時間半活動した場合 : 1.5

2

支援内容 *

※学習面、生活面含めて記載してください。活動内容が分かりにくい報告書(例:情報が少ない、その前の活動内容のコピペ)は、内容を確認させていただく場合があります。

例① バスターミナルまで迎えに行き、寮まで付き添った。仙台駅の周辺を案内し、バスの乗り方や、最寄りのコンビニエンスストアなどを教えた。同じ国から来た留学生と共に無事に寮に到着した。会話の始まりによく使われる話題について話した。「いい天気ですね。」という言葉がよく使われるので、覚えてもらった。また、「～したい」という言葉の使い方を教え何度か使ってもらった。

例② 私が使っていた小学校の教科書を持参した。平仮名ばかりで書かれた日本語の詩を勉強した。ふりがなを書いて音読の練習をした。宿題で音読をしてきてもらうことにした。授業に提出するための書類をコピーする必要があったので、マルチメディア棟でのコピーの仕方を教えた。その後、学食で昼食を食べながら、これからの活動時間と場所を決めたり、日本食やマナーなどを教えたりした。

アドバイス👉

- ★普段の生活で使える表現や、学習した語彙や文法を使い例文をたくさん作るなど、早速使い慣れてもらいましょう。
- ★留学生が授業で使用しているテキストだけが学習教材ではありません。留学生が興味のあるものを題材にするのも効果的です。
- ★2人きりでの活動がマンネリしてきたと感じたら、他のチューターや留学生と一緒に活動すると、良い刺激になります。
- ★初めての土地で知り合いが1人でもいるのは心強い。できる範囲内で、来日直後は支援してあげると、留学生も安心するでしょう。
- ★学内のパソコン、コピー機、学食、図書館など当たり前に使っているものを知らない留学生は多いものです。
- ★早めに会う日時を決めて、習慣にしまいましょう。
- ★自分の友達や家族を紹介する、部活やサークルについて教えるなど、より充実した留学生活を送れるようなキッカケ作りも支援の一つです。

気づいたこと・学んだこと*

例① 具体的な課題はまだ出されていないとのことだったので、学習の手伝いは会話に留まった。しっかり会話をして、適度な支援をしていきたい。とても明るい性格で、会話がかみ合わなくなってしまった時でも、わかり合おうしてくれる。助けられているところはとても大きい。今回は留学生の友人も交えて昼食をとった。交流関係を広げていくお手伝いについても考えさせられた。

例② 何かするたびに、「ありがとうございます。」と言ってくれた。バスの料金を支払った後などにもお礼を言っていて、とても礼儀正しい学生に見えた。

例③ 日本語を学ぶことに対して、非常に積極的だった。日本語の詩について学習する時間があまりとれなかったのだが、自分から宿題が欲しいと言ってきてくれた。だいたいの平仮名は読めるようになったようだ。同じ国の留学生の友人の影響も受けて、頑張って勉強しているようだった。

例④ 留学生自身が「これだけ日本語と日本について知った。」と思えるようになることを目的にして、毎週会う機会にサポートしていきたいと思っている。彼女の課題等があれば、そちらを優先するが、これから何をするか考え中である。

例⑤ 約束した時間に活動ができない週が続いたときは困ったが、それ以外の時に時間を設ける他、IPLAの活動などを通してチューター活動以外でもこまめに会うことで、いい関係を築けており安心できる。

その他

特になし

このフォームは 国立大学法人東北大学 内部で作成されました。

Google フォーム